

## 医療法人社団 誠仁会を受診された患者さまへ

当会では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

施設名	みはま病院・みはま佐倉クリニック・みはま成田クリニック・みはま香取クリニック
研究課題名 (研究番号)	透析患者の大動脈弁狭窄症に対する 経カテーテル大動脈弁埋め込み術 (Transcatheter Aortic Valve Implantation : TAVI) の予後調査 ( 26 - 006 )
当会の研究責任者 (所属)	白井厚治 誠仁会みはま病院 内科
他の研究機関および 各施設の研究責任者	ありません
本研究の目的	透析患者では、大動脈弁狭窄症 (AS) がしばしばみられ、本症は進行性であり、放置すると突然死を起こします。2021年2月1日より経カテーテル大動脈弁植込み術 (transcatheter aortic valve implantation : TAVI) が透析患者にも保険適用となり、身体への負担が少ないことから、特に高齢者の施行例が増加し、術後回復が早いために推奨されます。しかし、適用者には高齢者も多く、その生命予後は十分明らかではありません。今回、この大動脈弁置換術であるTAVI施行患者の実態、予後を把握するため、2020年から2025年12月までに、TAVI術を受けた患者さんを追跡し、生存率の差、死亡原因などを明らかにし、今後の対処法の改善につなげたいと考えました。
調査データ 該当期間	2020年1月1日—2025年12月30日
研究の方法 (使用する試料等)	過去のカルテを参照し、大動脈弁狭窄症に罹患された患者さんについて、まず、その頻度の継時推移、その原因検索のため、背景因子として、腎不全になられた元の疾患、透析期間、さらに各種生化学検査を調べます。TAVI法を受けられた患者さんについては、その生命予後を調べます。また、また手術を受けられなかった方の生命予後についても調べ、弁置換術の有用性を明らかにします。さらに手術を受けられた方で亡くなられた方については、その原因を調べ、TAVI術後の予後改善のための方策を確立します。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	なし
個人情報の取り扱い	患者さん名は、登録した際、番号化し、実名などは、わからないようにします。
本研究の資金源 (利益相反)	特に資金は必要ありません。利益相反はありません。
お問い合わせ先	誠仁会 みはま病院 内科 白井厚治 電話： 043-271-2200